

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	3	大友克寿	<u>三軒茶屋西地区への集団移転促進事業について</u> 1. 現在、三軒茶屋西地区へ集団移転を希望している方はどれくらいいるか。 2. 三軒茶屋西土地区画整理組合との協議はどのように進んでいるか。 3. 今後の実施スケジュールについて伺う。	市長
			<u>東日本大震災発生時の検証について</u> 1. 震災から1年を経過した今、復興へ向け進むとともに、震災発生当時の対応についてあらためて検証が必要と考える。 (1) 避難誘導のあり方はどうであったか。 (2) 連絡体制と連絡手段の確保についてはどうであったか。 (3) 拠点施設の非常用電源確保についてはどうであったか。 (4) 避難所の立ち上げについてはどうであったか。 2. 災害対策本部では、今後どのように検証結果をまとめ、防災計画等の見直しに生かしていくのか伺う。	市長
			<u>ICT（情報通信技術）を活用した行政運営について</u> 1. 現在のICT（情報通信技術）の活用状況を伺う。 2. 情報の受発信にFacebookを活用した取り組みを進めている自治体が増えてきているが、検討してはどうか。	市長
2	17	布田一民	<u>ふるさと納税制度の活用について</u> 1. 震災後の納税制度活用に変化はあったか、伺います。 2. 震災寄附金と納税制度との使途の判断をどのように考えたのか、伺います。 3. この制度の寄附金をまちづくり再生に活用してはどうか、伺います。 4. 新たなPR方法を考えるべきではないか、伺います。	市長
3	1	佐藤淳一	<u>防災対策について</u> 1. 防災対策について (1) 自主防災組織について ① 結成率向上のためどのような取り組みをしているか。 ② 中心となる人材の育成・教育を継続的に行う	市長

(続)	1	佐藤 淳一	<p>ことが必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 防災情報の伝達について</p> <p>① エフエムいわぬまの情報の届く範囲を考慮すると、出力を増強すべきと考えるがどうか。</p> <p>② 広範伝達方法として屋外拡声子局の増設について伺う。</p> <p>(3) 災害広報活動について</p> <p>① 災害初動期、応急期、復旧期の広報活動について伺う。</p> <p>2. 防災訓練について</p> <p>(1) 総合防災訓練について伺う。</p> <p>(2) 自主防災組織など各種団体のリーダーは、DIGのような意志決定訓練を日ごろから行い、適切な判断ができるよう準備しておく必要があると思うがどうか。</p>	市長
			<p>広告事業について</p> <p>1. 岩沼市の広告事業について現在の取り組みと状況を伺う。</p> <p>2. 今後の取り組みとして、公用車への広告表示などを積極的に行うべきと考えるがどうか。</p> <p>3. 地域経済活性化の観点から、広告収入目的だけではなく岩沼名物や特産品のアピールを目的とした広告を考えてはどうか。</p>	市長
4	4	布田 恵美	<p>まちなにぎわいのために</p> <p>1. 岩沼市域で震災からの復旧、復興が進む中、地産外消の視点を取り入れた施策を提案し、見解を問う。</p> <p>(1) 全国に暮らす岩沼出身者、また何かしら被災地を支援したい思いの方々がおられます。その方々の思いと生産者の商品発信の思いをつなげる取り組みとして、岩沼市内の農産品、農産加工品を全国に向けて発信してはどうか。</p> <p>(2) 宮城県では、来年は観光デスティネーションキャンペーン、今年はプレデスティネーションキャンペーンを行う予定と聞いているが、岩沼市としてはどのような取り組みを考えているか。</p> <p>(3) 新たな展開でのにぎわいイベントを検討してはどうか。</p> <p>(4) 駅前広場（完成後）を活用してのにぎわいイベントを検討してみてもどうか。</p>	市長
			<p>東部道路の活用について</p> <p>1. 岩沼市域には東部道路が設置されている。</p>	市長

(続)	4	布田 恵美	<p>高速道路利用者の利便性向上、地域の雇用創出、商品の販路拡大の一助、災害時の避難場所として活用できるように、市域内にサービスエリアまたはパーキングエリアを設置するよう働きかけてはどうか。</p>	市長
5	1 1	松田 由雄	<p>岩沼市地域防災計画の見直しに関して</p> <p>1. 昨年12月に「第1回岩沼市防災会議」が開催され、岩沼市地域防災計画の見直し作業を決めたことに関して、伺います。</p> <p>(1) 見直しを進めるに当たって、震災時の対応、災害時に即応できること、課題点などが確認されていることについて。</p> <p>(2) 被災者・市民、自主防災組織関係者の声はどのように会議に反映させているのか。</p> <p>(3) 現在の進捗状況について、どうなっているのか。</p> <p>(4) 今後の段取りはどのようになっているのか。</p> <p>2. 昨年7月に東日本大震災に伴う、災害対応などについて、総務省から聞き取り調査及びアンケート調査が行われたことについて、伺います。</p> <p>(1) 調査目的</p> <p>(2) 調査内容</p> <p>3. 情報伝達手段の整備に関して</p> <p>(1) 防災無線(屋外拡声子局)の整備、改善について</p> <p>① 夜間は消防署で対応できるように検討すべきと思うが、見解を伺います。</p> <p>② 担当職員が不在でも対応できる体制の構築について、見解を伺います。</p> <p>③ 気象庁の情報を自動的に受け入れ、対応できるシステムの構築について、見解を伺います。</p> <p>④ 防災無線の役割を充実させるために、災害を想定し、風向きも考えながら、台風時・強風時にも訓練を行うべきと思うが、見解を伺います。</p> <p>(2) 津波の阿武隈川等への逆流対策に関して</p> <p>① 昨年3月11日の教訓をどのように生かしているのか、見解を伺います。</p> <p>② 逆流予報、避難指示伝達等の整備について検討すべきと思うが、見解を伺います。</p> <p>③ 津波逆流避難勧告・指示対象行政区を新たに検討すべきと思うが、見解を伺います。</p> <p>4. 防災施設の整備に関して</p> <p>(1) 玉浦地区で被災された、ひとり暮らしの高齢者、</p>	市長

(続)	1 1	松 田 由 雄	<p>障害者、介護を必要とする高齢者の方々の避難所に関して、岩沼市地域防災計画で指定されている下野郷、早股の施設は浸水被害を受け使用できない状態でしたが、どのような避難誘導を行ったのか、伺います。</p> <p>(2) 避難所での生活に関して、精神的、肉体的なハンディキャップをケアする体制について、地域防災計画に対応マニュアルを明確にしておく必要があると考えますが、見解を伺います。</p> <p>5. 自主防災組織の果たすべき役割の改善について</p> <p>(1) 大震災の教訓から、平常時の活動、災害発生時の活動、避難方法について、改善すべきと思うが、見解を伺います。</p> <p>(2) 自主防災組織の活動を見直す上で、講習会を行うべきと思うが、見解を伺います。</p> <p>6. 竜巻対策について、どのように検討しているのか、見解を伺います。</p>	市 長
			<p>7. 震災記録の継承について</p> <p>(1) 東日本大震災の被災状況と過去の津波の歴史についても検証されていることについて、岩沼市史等により詳しく記載すべきと思いますが、見解を伺います。</p> <p>(2) 岩沼市民図書館に震災の記録（新聞、雑誌）の展示コーナーがありますが、写真、動画の記録についても整備すべきと思うが、見解を伺います。</p>	教育長
			<p>孤立死（孤独死）対策について</p> <p>1. 孤立死を防止するために、安否確認とサポートが必要と思われる高齢者、要援護者、生活困窮者世帯について、どのように把握しているのか伺います。</p> <p>2. 日常的な孤立状態を把握するために、本人や近隣住民の自発的活動だけでなく、市職員の訪問活動のほか、警察、新聞販売店、各種訪問販売員、水道事業所、電力会社との協力と情報提供についての見解を伺います。</p> <p>3. ひとり暮らしの高齢者だけでなく、何にも対応できるように、緊急通報システムの使用基準の改善を行っていくことについて、見解を伺います。</p> <p>4. 仮設住宅での対応について</p> <p>(1) ボランティアや町内会とも連携を図りながら、仮設住宅集會場で（仮称）「お茶を飲む会」「井戸端會議」等を実施していくことについて、見解を</p>	市 長

(続)	1 1	松 田 由 雄	伺います。 (2) 災害救助法に基づく国庫負担で設置可能な、緊急ブザーや緊急灯を設置することについて、見解を伺います。 5. 生活困窮者救済のために、生活保護制度の周知のためのパンフレット等を市役所、市民会館等の公共施設に置くべきであると考えているが、見解を伺います。	市 長
6	1 5	飯 塚 悦 男	<u>スマートシティ構想について</u> 1. 環境負荷の小さい次世代都市「スマートシティ」構想の推進を目指し、宮城県は5月15日に東日本大震災で被災した県内の沿岸15市町で構成する連絡会議を設置した。 被災地における同構想の実現の可能性を検討し、国に政策提言するということだが、市のまちづくりに「スマートシティ」の理念をどのような形で生かしていくのか、市長の考えを伺う。 2. 環境未来都市の提案によれば集団移転地「玉浦西」を「エココンパクトシティ」にする計画である。「スマートシティ」の理念を生かしたまちづくりと理解しているが進捗状況について伺う。	市 長
7	6	須 藤 功	<u>防災集団移転促進事業について</u> 1. 被災6地区を移転促進区域に決めた経緯について伺う。 (1) どのような方法で6地区に決めたのか。 (2) 恵み野西への移転はいつ決めたのか。 (3) 今年5月の特別委員会で、市は、恵み野西の利便性などを説明したいと言っている。具体的にどのような利便性があるのか。具体策（スーパー・病院など）を示していただきたい。 (4) 寺島地区はなぜ集団移転の対象に入らないのか。 (5) 昨年7月までに家屋解体に同意し、印鑑一つで家屋が無くなった。しかし、集団移転にも入れないなど対応が悪くはないのか。 2. 買い取りする6地区に示した移転促進区域位置図について伺う。 (1) 個別面談で示した地図どおりに購入するのか。 (2) 介在農地の買い取りについて、被災者からは不公平感が出ている。聞こえているか。 (3) 介在農地の買い取りは見直しが必要と考える。見直す考えはあるか。	市 長

(続)	6	須藤 功	<p>駅連絡通路の改札口時間延長について</p> <p>1. 市長は平成 22 年第 4 回定例会において、JR 岩沼駅の請願駅時間延長について「岩沼市としては検討した上で必要に応じて JR とも協議をしたいというふうに思います」と答弁している。どのような検討をし、協議したのか。</p> <p>2. 1 日 2 時間の延長で、年間 50 万円の経費負担増となる。市民の利便性は増すと考えるが、時間延長をしてはどうか。</p>	市長
8	10	森 繁 男	<p>東部地区のまちづくりについて</p> <p>1. 市は、玉浦西地区に新たなまちづくりを計画、決定しているが、現時点での移転希望者は何名いるのか伺う。</p> <p>2. 東部地区のまちづくりについて、市長が考えているイメージについて伺う。</p> <p>3. 自然災害に強い東部地区をつくるための市長の思い（熱意）を伺う。</p> <p>4. 東部地区の今後のまちづくりについて、PR パネルを作成し、庁舎や現地等に設置してはどうか伺う。</p>	市長
			<p>東部地区の農業対策について</p> <p>1. 県道 10 号線東側の農地の整備と整備後の利用計画について伺う。</p> <p>2. 排水機場の整備計画について伺う。</p> <p>3. 防風林（防潮林）の整備計画について伺う。</p>	市長
			<p>玉浦小学校校庭の整備計画について</p> <p>1. 校庭の地盤変動はどの程度あったのか伺う。</p> <p>2. 降雨時の排水が悪いが整備計画について伺う。</p>	教育長
9	5	酒井 信 幸	<p>防災訓練について</p> <p>1. 9 月に実施する津波を想定した避難訓練の内容について</p> <p>(1) 対象地区について伺う。</p> <p>(2) 実践的な避難訓練を行うに当たり、関係機関との連携をどのように図るのか。</p> <p>(3) 今後も継続して訓練を行うのか。</p>	市長 教育長
			<p>防災教育について</p> <p>1. 防災主任の配置について</p> <p>(1) 小中学校へ、防災主任は配置されたか。</p> <p>(2) どのような教諭が担当となったのか。</p> <p>2. 学校内外における防災主任の役割について伺う。</p> <p>3. なぜ防災担当主幹教諭を玉浦小学校に配置したのか。</p>	教育長

(続)	5	酒井信幸	<p>4. 防災担当主幹教諭の役割について</p> <p>(1) 他の小中学校との連携について伺う。</p> <p>(2) 地域への関わりについて伺う。</p> <p>5. 今後の防災担当主幹教諭の配置について伺う。</p> <p>6. 地域や関係機関等との連携を図るために「(仮称)防災教育推進連絡協議会」を設置してはどうか。</p>	教育長
10	2	大友健	<p>東日本大震災について</p> <p>1. 2回目の個別面談の結果について</p> <p>(1) 被災者の A、B、C、D、E 選択の比率はどうか。</p> <p>(2) 昨年 12 月の面談とどう変化したか。</p> <p>(3) 移転計画に支障はないのか。見込みが狂っていないか。</p> <p>2. 集団移転について</p> <p>(1) 被災者の立場に立つより、業務遂行の都合を優先させたのではないか。</p> <p>(2) 隣近所に誰が来るかが分からない中で、被災者に決断を迫るのは難しいことだと思わないか。</p> <p>(3) 個別移転に向かう人に市独自の施策を打ち出せないのか。</p> <p>(4) 岩沼市独自の支援策がないのはなぜか。市外に出ていく被災者の引きとめ策は考えないのか。</p> <p>3. 千年希望の丘について</p> <p>(1) 岩沼だけ 4 重防御。近隣市町の詳細は得られるのか。</p> <p>(2) 国の仕事なのではないか。予算は確保できるか。</p> <p>(3) 実証実験というが、何を実証するのか。</p> <p>(4) がれきの利用は、どこから持ち込むか。県に委託の災害ごみ処理との関連はどうなっているのか。</p> <p>4. 原発立地自治体の仮のまち、じゃなく本物のまち</p> <p>(1) 岩沼に集団移転を、という発想はいかがか。</p>	市長
			<p>岩沼駅前整備について</p> <p>1. 駅への一方通行入り口。県道停車場線の拡幅（県の事業）</p> <p>(1) 市の駅前整備との同時オープンはどうなったのか。</p> <p>(2) 一方通行の解除を再検討するべきではなかったか。</p> <p>(3) 県の 24 年度予算はどうなっていたのか。</p> <p>(4) なかなか進まない理由は何なのか。</p>	市長

(続)	2	大友 健	<p>(5) 北側に拡幅するのを修正し、南側について再考してはどうか。</p> <p>(6) 道路をくねらせ、安全優先を持ち込む手もあるのではないか。</p> <p>(7) 市の事業・駅前広場の照明・街灯はどうなっているのか。</p>	市長
1 1	7	渡辺 ふさ子	<p>放射能対策の前進を</p> <p>1. 食品放射能測定について</p> <p>(1) 農産物等の食品検出限界値がセシウム 134 とセシウム 137 合計で 50 ベクレル/Kg を超えるものが多い。家庭での子どもの食事に配慮し、検出限界値を下げるべきではないか。</p> <p>(2) 県の給食検査に食材の事前検査が始まっている。市においても使用頻度の高い食材の事前検査を行うべきではないか。</p> <p>(3) 測定結果の公表について</p> <p>① ホームページでの検査報告は、保育所、学校については使用食材、農産物等については検出限界値を記載すべきではないか。</p> <p>② 市広報に水道水や保育所、学校給食食材の測定検査、農産物等の報告を、検査日、食材、検出限界値などを記載し、紙面が不足なら折り込みも検討してはどうか。</p> <p>③ 保育所、学校の給食だよりでの検査報告は、どのように行われているか。</p> <p>2. 水道水の安全・安心について</p> <p>(1) 大雨、台風などの増水時は、川底のセシウムが攪拌され濃度が高まることが懸念されるが、取水時の対策はどうしているか。</p> <p>(2) 玉崎浄水場の浄水発生土について</p> <p>① 高濃度の汚泥が保管されている。どのように保管されているか。</p> <p>② 今後も汚染汚泥がたまる。どう考えるか。</p> <p>(3) 阿武隈川からの取水を止めてほしいという声が寄せられている。市長の見解を伺う。</p> <p>(4) 市民の不安に伝えるため、阿武隈川の原水、浄水場出口、市内栓水の、より精密な放射能検査を行ってみてはいかがか。</p> <p>3. 子どもの健康調査について継続した尿検査などが必要ではないか。</p> <p>4. 土壌検査について</p>	市長 教育長

<p>(続)</p>	<p>7</p>	<p>渡 辺 ふさ子</p>	<p>(1) 校庭や園庭、家庭菜園や庭土などの土壌検査を行ってはどうか。 (2) 土壌測定マップを作ってはどうか。 5. 除染マニュアルについて (1) 市長は今議会の市政報告において、「今後、線量率に大きな変化などがあった場合については、必要に応じて線量率測定の強化や除染などの対応策を実施する」と述べている。どのような対応策を想定しているか。 (2) 公共施設のマイクロホットスポット除染対策はどのように考えているか。 (3) 保育所等の除染基準を地上 5cm、0.19 マイクロシーベルトに設定している自治体もある。見解を伺う。 6. 公共施設の側溝の清掃について (1) 小中学校について ① 側溝清掃はどのように行われているか。 ② 今後の計画はどうなっているか。 (2) 保育所、児童センター、南プラザ等について ① 側溝清掃はどのように行われているか。 ② 今後の計画はどうなっているか。 (3) 公民館等について ① 側溝清掃はどのように行われているか。 ② 今後の計画はどうなっているか。</p>	<p>市 長 教育長</p>
			<p>高齢者福祉計画</p>	
			<p>1. 介護予防の推進について</p>	
			<p>(1) 認知症予防パンフレットの作成はどのように進める計画か。</p>	
			<p>(2) 認知症啓発用ガイドブックの作成を検討してはいかがか。</p>	
			<p>2. 認知症高齢者を抱える介護者支援について</p>	<p>市 長</p>
			<p>(1) 認知症サポーターの養成対象者をどのように考えているか。</p>	
			<p>(2) 地域見守りシステム体制の構築に向けての計画をどのように進めるのか。</p>	
<p>1 2</p>	<p>1 4</p>	<p>宍 戸 幸 次</p>	<p>防災計画の見直しについて 1. 見直しの年次計画はあるか伺います。 2. 見直しの重点は何か伺います。 3. 復興計画との整合について伺います。 4. 防災マップの作成と市民への配布について伺います。</p>	<p>市 長</p>

(続)	14	宍戸幸次	<p>火葬場の建設計画について</p> <p>1. 用地選定をどのように進めるのか伺います。</p> <p>2. 機種選定をどのように進めるのか伺います。</p> <p>3. 本体工事の着手と竣工の年次計画はあるか伺います。</p>	市長
13	8	櫻井隆	<p>被災者支援対策について</p> <p>1. 自主防災組織に対する支援対策について</p> <p>(1) 岩沼市自主防災組織防災用品助成要綱第8条第2項には、「防災用品の点検及び消耗品の補充は、自主防災組織が行うものとする。この場合において要する経費は、自主防災組織が負担するものとする。」とある。昨年の東日本大震災による津波の被害で、多くの防災用品を失った。今回の被害に対する支援対策を要望するがどうか。</p> <p>2. 居久根伐採後の支援対策について</p> <p>(1) 昨年の9月定例会において「居久根伐採後の造林、植林のあり方」について質問し、「調査結果を踏まえて、植栽方法について検討する」との答弁であったが、検討結果を伺う。</p> <p>(2) 植林に対する助成制度はあるのか。</p> <p>(3) 伐採後の切り株の撤去には多額の費用がかかるし、そのまま放置しておくとしロアリ等の被害も心配される。切り株の撤去に対する助成はできないか。</p>	市長
			<p>65歳以上のスポーツ施設利用料の無料化について</p> <p>1. スポーツによる健康増進で医療費を抑制するため、65歳以上の個人利用に限りスポーツ施設利用料を無料化にできないか。</p>	市長
			<p>通学路の安全対策について</p> <p>1. 各小中学校の通学路の点検の状況を伺う。</p> <p>2. 今日まで、各学校からの要望に対してどのように取り組んできたか伺う。</p> <p>3. 今年度の重点対策はどのように考えているか伺う。</p>	市長 教育長
14	13	長田忠広	<p>高齢者支援について</p> <p>1. 地域全体で支え合う、「小地域福祉活動」の進捗状況伺う。</p> <p>2. (高齢者対象の)肺炎球菌ワクチン予防接種助成制度を創設してはどうか伺う。</p> <p>3. 高齢者等緊急通報システム事業で民間警備会社と連携を取り、協力員数の緩和を提言したが、その後の進捗状況を伺う。</p>	市長

(続)	13	長田 忠 広	4. 生きがいデイサービス事業を地域展開してはどうか伺う。	市 長
			<u>災害公営住宅について</u> 1. これまで個別調査やアンケート調査を行っているが、災害公営住宅の案が明確に示されていない。これでは、選択する際に悩んでしまう。具体的な間取りを決め、関係者に提示してはどうか伺う。 2. 災害公営住宅は、5年後には、市営住宅になる。そうすると今後のことも考えながらの対応が必要と思うがどうか伺う。 3. 特別委員会で、保証人、ペットなどの取り扱いについて確認したが、その後どのようなようになったか伺う。 4. 南仮設住宅には、市外から岩沼市に住民異動して住んでいる方がいる。しかし、その方へのお知らせがない。そこで、その方への対応も必要と思うがどうか。	市 長
15	9	佐藤 一 郎	<u>東部地区からの避難路の整備について</u> 1. 県道岩沼海浜緑地線の整備計画について (1) 県道塩釜亘理線から仙台東部道路までの拡幅整備の進捗状況は、どのようになっているのか。 (2) いつまでに完成する予定か。 2. 市道本町早股線について、避難路として活用し、歩道整備をすべきではないか。 3. 矢野目流通工業団地からの避難路について (1) 震災復興計画に県道仙台空港線の整備があるが、その他の避難路の整備も検討すべきでないか。 (2) 交通量が増加している市道矢野目善願線の拡幅を検討すべきではないか。 (3) 市道空港三軒茶屋線（藤曾根地区）から県道塩釜亘理線（下野郷地区）と接する農免道下野郷藤曾根線の整備を、今回の大区画圃場整備と一体化して考えてはどうか。	市 長
			<u>東日本大震災復興誌の作成について</u> 1. 市民（小中学校の児童・生徒を含む。）の体験談を記録として残すべきではないか。 2. 市民が撮影等を行った記録を提供いただけてはどうか。 3. 消防団員、市職員、市民の方の避難誘導などの活動を記録として残すべきではないか。 4. 復興の進捗状況を記録に残すべきではないか。	市 長 教育長